

市議会だより

平成28年2月1日発行
編集／和光市議会 議会運営委員会
☎ 048-424-9108(直通)
<http://www.city.wako.lg.jp/home/shigikai.html>



和光市
イメージキャラクター
わこうっち



和光市
イメージキャラクター
きつきちゅん

今号は
12月定例会のあらましを
お知らせします

平成27年12月定例会は、12月3日(木)から12月21日(月)までの19日間にわたって開かれました。

今定例会では、市長から提出された議案14件、市民等から提出された陳情1件、議員が提出した意見書2件を審議しました。

12月定例会の主な議案

和光市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例を定めることについて 【原案可決】

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)に基づき、個人番号の利用及び特定個人情報提供に必要事項を定めることについて、原案のとおり可決しました。

和光市勤労福祉センターの管理を行わせる指定管理者の指定について 【原案可決】
平成28年4月1日から平成33年3月31日までの期間、シンコースポーツ・サウンワックス共同事業体を公募により指定管理者として指定しました。

和光市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を定めることについて 【原案可決】

増え続ける医療費に対応するため、国民健康保険税の課税限度額について、現状ではその法定額を下回る

宅重度心身障害者手当、埼玉県後期高齢者医療に関する条例第3条に規定する検診受診に要する費用

和光市総合福祉会館設置及び管理条例の一部を改正する条例を定めることについて 【原案可決】

現在、指定管理者が運営している地域活動支援センター(精神障害者)を、平成28年4月1日から、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)で規定する就労継続支援B型施設へと変更するため、事業内容及び利用対象等を改正することについて、また、一般就労した後でも職場に定着するまでは引き続きB

平成27年度一般会計及び特別会計補正予算【原案可決】

一般会計では、歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億5,832万5千円を追加し、それぞれ総額を288億1,525万1千円とする案を原案のとおり可決しました。

歳入の主な内容

- 障害者自立支援給付費負担金(国庫・県負担金)・・・1億1,291万3千円
- 生活保護費負担金・・・4,974万6千円
- 学校施設環境改善交付金(小学校分)・・・1,320万6千円
- 財政調整基金繰入金・・・5,023万6千円
- 白子小学校体育館非構造部材耐震化・防災機能強化事業債・・・2,601万9千円

歳出の主な内容

- 和光市議会議員一般選挙・・・△998万円
- 在宅障害者支援・・・1億6,406万円
- 民間保育園新設・・・8,167万4千円
- みなみ保育園管理運営・・・2,555万9千円
- 道路維持・・・1,176万円
- 小学校施設整備・・・6,645万3千円
- 給食施設整備・・・881万1千円

会計名	補正額	補正後の金額
一般会計	4億5,832万5千円	288億1,525万1千円
特別会計		
後期高齢者医療	△46万4千円	6億2,576万9千円
介護保険	142万9千円	32億5,664万円
和光市駅北口土地区画整理事業	△106万6千円	7億5,877万1千円

陳情 市民等から提出された陳情を審議しました。

農業政策の要望及び資産課税の軽減に関する陳情書 【趣旨採択】
都市農地が持つ、公益的機能などをさらに発揮し、市民生活の安全確保、都市農業の維持を鑑み、固定資産税の減額、耕作放棄地に対する固定資産税課税強化の見直し、相続税の納税負担の軽減などについて陳情いたします。また、意見書を政府関係機関に提出することを併せて陳情いたします。



意見書

議員から提出された意見書案2件を可決し、内閣総理大臣など関係大臣へ送付しました。

中学校夜間学級の整備と拡充を求める意見書 【原案可決】

以下の取り組みに対処する迅速な対応を求めます。
1 年齢や国籍そして居住地に関係なく希望する誰もが学べる夜間中学の全道道府県への設置を促進
2 夜間中学における日本語教育のため、教員の加配を含めた専門家の配置に、国と都道府県が連携して財政支援を行うこと
3 義務教育未修了者や在留資格を持つ外国人が、夜間中学の情報を入手しやすように配慮した広報の展開や、低所得者に対する授業料減免などの誘導策を推進

硬膜外自家血注入療法(ブラッドパッチ療法)の保険適用および脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書 【原案可決】
早期に実現されるよう強く要請いたします。
1 脳脊髄液減少症の治療法である硬膜外自家血注入療法(ブラッドパッチ療法)を保険適用とすること
2 厚生労働省の研究事業において、18歳未満の症例を加えること
3 脳脊髄液減少症の早期発見・早期治療のため、医療関係機関への情報提供を徹底すること

※陳情及び意見書は、紙面の都合により、一部抜粋にて掲載しています。

議会報告会を開催

昨年10月28日(水)に中央公民館で開催した議会報告会に19名の方にご来場いただきました。9月定例会において常任委員会で審査した各会計決算の内容について各常任委員長が報告した後、参加者の方々から市の事業に対する質問や、ご意見などをお聞きすることができました。皆様のご意見等を真摯に受け止め、今後も積極的に議会活動と情報提供に努めてまいります。報告会の詳細については、市議会ホームページをご覧ください。



録画DVDの貸出しを行っています

次回、議会報告会開催日を決定

日時／4月27日(水)19:00
場所／和光市中央公民館 会議室1
内容／平成28年度当初予算の審査概要報告、意見交換会(テーマ「平成28年度施政方針について」)

12月14日(月)

外環上部の長期遊休地の活用
バスターミナル構想事業案

赤松祐造
(和光・まちづくり市民の会)

質問▼松本市長公約のバスターミナル構想の実現に向けて、事業推進と完成目標時期を伺う。

企画部長▼政策実行計画では、完成は平成28年度を目標としていましたが、山積する課題を解決する必要があるため、できれば2020年のオリンピックには稼働できるようスピード感を持って事業推進を図ってまいります。

このほか、外環側道の交通事故死対策と信号機設置、北口駐輪場施設、和光樹林公園の指定管理除外、市民参加と協働推進、男女共同参画推進と女性活躍推進法、北インター地域周辺の便益施設と市道整備、白子3丁目中央土地区画整理事業の総合治水対策と道路公園整備などの質問をしました。

改正農地法に基づく遊休農地に
関する措置に対する市の対応は

金井伸夫
(和光市政を改革する会)

質問▼掲題の措置について農業委員会は所有者に利用意向の調査を実施することになった。和光市農業員会では農地として維持管理が不足している場合、改善の指導を行っているが、結果が問われないことから、指導を行うことが目的化され、遊休農地が存在しているのではないかと伺う。同措置について市の対応を伺う。

市民環境部長▼これまでの遊休農地所有者等に対する農業委員会の指導等の措置が、利用意向調査等の措置へ再編簡素化されました。和光市農業員会では農地の適正利用に向けて指導を行い、農地の有効利用を促進させたいと伺っています。

このほか、地方創生、指定管理者制度、環境などの質問をしました。

総合児童センタープール

小嶋智子
(歩みの会)

質問▼プールの使用ができなくなつてから、長い時間が経過しており、地域の方からは「何もしなないのであれば、広場か公園にして開放し有効利用したい」といった声がある。平成29年度の再開は可能なのか伺う。

保健福祉部長▼総合児童センタープールは、市役所周辺の利便性を踏まえた施設再編整備として、市民プール、総合児童センター、認定こども園等の多機能施設への転換を図りながら平成29年度中に整備予定です。その準備として、市役所周辺地域を市街化調整区域から市街化区域にする都市計画の区域区分の変更手続を行っています。

このほか、電線地中化、芝生化、予算編成などの質問をしました。

わごころ版ネウボラ拠点での
母子手帳交付、関係性と信頼の構築を

待鳥美光
(新しい風)

質問▼フィンランドのネウボラでは関係性と信頼の構築を大事にし、最初の接点で時間をかけた対話によるアセスメントを行っている。子育て世代包括支援センターでの母子手帳交付時の対応を伺う。

保健福祉部長▼現在わごころ版ネウボラ拠点での母子手帳交付は4割程度。6割は市の窓口での交付ですが、保健センターなど保健師等がいる場所でアセスメントを行って交付しています。窓口で時間をかけてもリスクのある人はなかなか話さないで、数日以内に訪問するのを基本にしています。その話や家庭の状況を見て判断するアウトリーチを重視しています。

このほか、協働推進、地域福祉、住宅政策などの質問をしました。

市道の維持・補修等の
安全管理

富澤啓二
(公明党)

質問▼安全で快適な道路の整備について総合振興計画に示されている。道路の管理・維持・補修の現状と取り組みについて伺う。

建設部長▼隔週で職員による定期的なパトロールを実施。路面の陥没、ひび割れの劣化状況、側溝の枯れ葉・土砂の詰まり、ガードレール等の道路施設のふくあいを確認し、予算化された箇所から順次補修工事または応急処置や緊急工事を実施。消えかかっている横断歩道や停止線など、交通規制に関する道路標示は埼玉県警察の対応となるため朝霞警察署に報告しています。

このほか、社会的孤立(ひきこもり)、若年層の自殺対策、障害者差別解消法に伴う就労支援等の取り組みなどの質問をしました。

12月15日(火)

今後設置される全ての
地区社協に拠点の整備を

村田富士子
(公明党)

質問▼地域福祉を進めるために、小学校区単位に地区社協が順次設置されていく計画となっている。全ての地区社協に、スタッフが常駐し、地域住民がいつでも立ち寄れる拠点の整備を求めるが、市の取り組みを伺う。

保健福祉部長▼公共施設の一部や、空き家、小規模多機能施設内の地域交流スペースを活用するなど、和光市社会福祉協議会と連携しながら拠点を整備していきます。



このほか、保育ママの導入、コンビニ強盗事件後の対応、和光市防災・防犯情報メールの周知、市内の交通対策などの質問をしました。

交通安全対策

齊藤秀雄
(緑風会)

質問▼市街化調整区域内の舗装された市道、特に新倉8丁目、下新倉5丁目・6丁目のエリア内の市道における交通事故に対して、幹線と支線との区分けをし、支線には「止まれ」の路面標示を施工するなど、事故軽減対策に対する市の取り組みについて伺う。

建設部長▼市街化調整区域内の舗装道路における交通事故については、本年10月までの過去1年間の人身事故が、軽傷25件、重傷2件となつています。朝霞警察署と連携して、路面標示や啓発看板を設置するなどにより、交通事故の減少に努めていきます。

このほか、市民農園の拡大の取り組みなどの質問をしました。

12月15日(火)

狭隘道路解消について

吉田武司
(緑風会)

質問▼狭隘道路解消については、買い取りを基本とし、狭隘道路解消に取り組んでいます。道路整備実施計画に基づき、今現在の状況と今後の方向性、狭隘道路解消に向けての職員の窓口での説明、対応について伺う。

建設部長▼市内の土地に関する情報を多方面から収集し、取得可能な路線については積極的に交渉し、全面的な改善でなくとも、部分的な整備を実施し、点と点を繋げ線となるよう、合意形成ができた箇所から拡幅や歩道設置に取り組み柔軟な対応へと方針を変更してまいります。

このほか、危険交差点について、土地区画整理事業、教職員の指導力の向上などの質問をしました。

市内循環バス停に
ベンチの設置を

吉村豪介
(和光維新の会)

質問▼今後急速に進行する高齢化社会において、市内循環バスは高齢者の利用が進むと考えられる。高齢者や身体の不自由な方等に優しい対応を図るため、バス停に付随もしくは付近にベンチを設置できないか。

建設部長▼バス停が設置されている道路状況や幅員等を確認し、道法及び道路交法に基づいて、歩行者の安全や通行帯の確保ができ、かつ設置が可能な場所については、バス停一体型や隣接設置などを検討していきます。

このほか、ひきこもり対策、水道事業、猫の飼育、ニッポン全国鍋グランプリなどの質問をしました。

※用語解説

地区社協

地区社会福祉協議会の略称。誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを目的に、地域住民が自発的に取り組むために設立された自主的な住民組織のこと。地縁団体やボランティアなど様々な方々の横のつながりを作り、住民1人1人の福祉課題を地域全体の福祉課題と捉え、その解決に向けた取り組みを行う。和光市では平成28年度から平成31年度までに9カ所の地区社協を設立予定。

小規模保育事業所

ゼロ歳から3歳未満児を対象とし、定員を6人以上19人以下の少人数で行う保育施設。「子ども・子育て支援新制度」で新たに認可事業とされた。和光市内には、平成28年2月現在10園あり、平成28年4月から新たに5園が開園予定。

常任委員会の審査

常任委員会に付託された議案の主な審査内容を報告します。付託とは、本会議における議案の議決に先立ち、議員で構成する各常任委員会に審査を分割して任せることです。

総務環境常任委員会

問 和光市議会議員一般選挙費が998万円減額の理由は。
答 選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例に基づく負担金を実績に基づいて支出し、744万3千円の減額となったことが主な理由です。
問 防災施設整備の防災行政無線固定系子局整備工事費が減額になったが、設置は終わったのか。
答 デジタルへの交換は10基、新規は2基の予定でしたが、交付金が減額となり、デジタル交換は7基となりました。平成28年度から平成30年度の3カ年で残

文教厚生常任委員会

問 介護保険条例の一部改正について、窓口で申請する際、個人番号記入漏れの場合は。
答 原則的に本人記入だが、保健福祉の場合、窓口に来る方の状況に応じた対応が必要。最大限の行政サービスを行います。
問 一般会計補正予算で、みなみ保育園の3歳児定員増加のため改修工期が年度をまたぐ場合、新年度への影響は出ないか。
答 2階の支援交流室と病後児保育室を再編し、ゼロ歳児の教室とします。ゼロ歳児保育を4月からスタートできない事態は避

12月17日(木)

12月16日(水)

市保有・管理施設の営利目的での開放に対する市の考えは

安保友博
(わこう安心保障の会)

質問▼市内のコミュニティ活動を促進し、地域活動を活性化するという点から、公共施設の利用促進について、また、事業者支援、歳入の増加という点から、施設の営利目的に対する開放について伺う。
市民環境部長▼稼働率については向上の余地があると考えますが、様々な役割を担っている施設であり、一定の余裕は必要だと思います。市長▼企業にも税負担をしていただいているので企業に使っていただくことはおかしくないですが、管理者の住民団体は公共的な利用を前提に動いており、仕組みづくりを考えていきたいと思えます。

不妊症・不育症治療に対する市独自の経済的支援の整備

鳥飼雅司
(日本共産党)

質問▼国は平成16年度から不妊治療補助制度を開始しており、これを受けける形で県内の市町村においても独自の補助制度を持つ自治体も増えてきている。そこで、和光市でも独自の経済的な支援制度を整備して欲しいと思うが、見解を伺う。

保健福祉部長▼和光市による独自補助は行っていませんが、厚生労働省が妊娠・出産・子育て支援に不妊症治療補助の拡充を掲げているので、国の動向を注視し、新たな施策等が発信された場合には、効果的導入、運用を検討します。

防災訓練の成果と次年度への課題について

内山恵子
(さつき会)

質問▼今年度の防災訓練の成果と来年度の訓練に反映するべき課題について伺う。

危機管理監▼5月のBOSA Iフェアでは、ゲーム感覚で楽しく災害時に必要な技や知恵を体験しながら学び、9月の地域防災訓練では、安否確認から避難経路訓練等を行い、避難所ではマンホールトイレの組み立て訓練も行い、参加者が現実的な災害のイメージを感じ取ることでできるリアリティーのある訓練を行いました。来年度の課題としては、より多くの訓練参加者を促すためのPRを行います。

生活拠点の振興と商店街のない和光市での商業振興

西川政晴
(新しい風)

質問▼商店街は法律に基づいて認定された地域を指す。振興の支援事業は個店活性化事業も商店街が対象になる。やすらぎとにぎわいのある町・地域住民が集う場・買い物難民対策などは「身近な商店」と考える。市民生活に密着した商業活動の育成、高齢者比率の高い丁別もあり、駅周辺だけが商業振興が必要とは考えないが、市の手立てを伺う。

市民環境部長▼産業振興計画や策定中の和光市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、課題解決に取り組み、個人事業者への支援は市制度融資や認定された創業支援事業計画に基づき行っていきます。

保育の待機児の解消と保育料金の助成を

熊谷二郎
(日本共産党)

質問▼待機児を生じさせないため、保育所の整備計画と保育料金の対する市の助成を。

保健福祉部長▼平成28年4月開所予定で、白子3丁目に保育所が1カ所、小規模保育事業所が新倉地区に4カ所、下新倉地区に1カ所の合計5カ所となります。平成28年度の整備計画として、保育所1カ所、小規模保育事業所6カ所の整備を予定しています。保育料金については平成29年度に見直しを行う予定です。



このほか、交通安全、公共施設問題、教育問題などの質問をしました。

障がい者の自立を支える施設建設の推進を

吉田けさみ
(日本共産党)

質問▼精神障がい者の地域生活を支えるグループホームの建設が待たれるが、施設規模、内容、入所者の条件を問う。

保健福祉部長▼規模は、居室数が18室、臨時の対応や体験入居等のためにショートステイ2室、スタッフ室、相談コーナーを想定しています。また、入居基準については、市と事業所で協議を図るとともに、個々のサービス利用計画に基づき決定します。



このほか、公設・公営保育園の存続を、西大和団地の高度地区指定と地域環境、駅北口自転車駐輪場建設などの質問をしました。

家庭における防災意識の啓発を

猪原陽輔
(新しい風)

質問▼掛川市では防災意識の啓発を目的に、地震、洪水等の災害ごとの避難行動のタイミング、避難場所、避難手段等、避難計画を家庭単位で作成することを推進している。和光市防災ガイドマップの更新の際に、家庭の避難計画を作成する紙面を設けてはどうか。

危機管理監▼現行の防災ガイドマップには防災メモの記入欄を設けており、いつとき避難場所や避難所、家族の集合場所、必要な連絡先を記入できるようにしています。今後ガイドマップを更新する際には、掛川市の事例も参考に研究していきます。

このほか、杭打ちデータ流用問題、3歳児の保育園への転園の対応などの質問をしました。

健全財政運営に向けた説明に工夫を

菅原満
(民主党)

質問▼行政経営方針や実施計画では、国や県の支出金、市債などを合わせた総事業費で示すことも大切だが、健全な財政運営を考えると、市税、諸収入など一般財源の状況により焦点を当てて、財政状況に關しての説明に工夫を行うことが必要ではないか。

企画部長▼市が自由に使うことができる一般財源は、大幅に減少していることから、その状況を常に考えることは大変重要です。今後、このような財政状況を財政白書などにより市民の皆様によりわかりやすくお知らせするとともに、行政経営方針等の策定にも活用していきます。

このほか、脳震とうの理解や啓発、保育士不足対策などの質問をしました。

りの設置を行います。
問 道路維持費の植樹帯管理委託料が労務単価の上昇による補正となっているが、労務単価は。
答 平成27年度予算編成時期と比べ、現場管理費が3%以上、一般管理費で6%、労務単価で1日300円の増額です。
※このほか、和光市税条例に関する議案等、7件の議案及び1件の陳情が付託され、審査の結果、全ての議案が可決、陳情は趣旨採択されました。

行政視察研修を実施

各常任委員会で、行政視察を実施しました。各議員の行政視察報告書は、市議会図書室でご覧になれます。

総務環境常任委員会

10月14日・15日に、自主防災組織、市民への防災教育について静岡県掛川市を、公共施設マネジメントの取り組みについて静岡県焼津市を視察しました。

掛川市 地震・津波・土砂・洪水・原子力災害及び大規模火災を想定し、災害ごとに「家庭の避難計画」の作成を進めている。

焼津市 平成25年に公共施設白書を、平成27年に公共施設等総合管理計画を作成。供給・品質・財務の3つの視点から、機能・総量・維持保全の3つの最適化を基本としている。近隣2市と施設相互利用により広域連携の取り組みを実施。



掛川市
自らの身は自分で守る。地域や各家庭で災害ごとに命を守るための避難計画を持ち、訓練をすることが必要。

文教厚生常任委員会

10月20日・21日に、高齢者施策、地方創生先行型ロングライフプロジェクト事業について栃木県那須烏山市を、「こどもが選ぶ、友だちにすすめたい本」うつのみやこども賞について栃木県宇都宮市を視察しました。

那須烏山市 健康寿命を延ばし住み慣れた地域で暮らすことを目標に、健康長寿プランナー養成研修、健康長寿セミナー、高齢者の生きがいづくり子育て世代との交流事業を実施。

宇都宮市 昭和59年から「うつのみやこども賞」を毎年実施。選定会議は司会進行等も子どもたち自身で運営し、受賞作品の作者に講演依頼や表彰状を贈呈している。



那須烏山市
地域住民により運営される「ふれあいの里」、シルバー大学、介護予防サポーター等と連携して進める事業について説明を受けた。

議案・陳情の採決結果

平成27年12月定例会で審議された議案等の採決結果です。

○:賛成 ×:反対 欠:欠席 棄:棄権 除:除斥
△:趣旨採択 (議長 齊藤克己は会派に所属せず)

会派名	新しい風			日本共産党			公明党		緑風会		民主党	和光維新の会	和光市政を改革する会	さつき会	和光まじろづくり市民の会	和光まじろづくり市民の会	歩みの会	わかこう安心保障の会	議決結果
議員名	待鳥美光	猪原陽輔	西川政晴	吉田けさみ	熊谷二郎	鳥飼雅司	村田富士子	富澤啓二	吉田武司	齊藤秀雄	菅原満	吉村豪介	金井伸夫	内山恵子	赤松祐造	小嶋智子	安保友博		

市長提出議案14件

議案第69号	和光市勤労福祉センターの管理を行わせる指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第70号	和光市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例を定めることについて	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第71号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第72号	和光市税条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第73号	和光市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第74号	和光市総合福祉会館設置及び管理条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第75号	和光市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第76号	和光市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第77号	和光市介護保険条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第78号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第79号	平成27年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第80号	平成27年度埼玉県和光市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第81号	平成27年度埼玉県和光市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第82号	平成27年度埼玉県和光市和光都市計画事業和光市駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

陳情1件

陳情第7号	農業政策の要望及び資産課税の軽減に関する陳情書	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	趣旨採択
-------	-------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

議員提出議案2件

意見書案第1号	中学校夜間学級の整備と拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
意見書案第2号	硬膜外自家血注入療法(ブラッドパッチ療法)の保険適用および脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

市制施行45周年記念事業
「和光市議会議場ミニコンサート」を開催

多くの市民の方が議会に関心をもちたいことを目的として、平成27年12月3日(木)、12月定例会第1日の開会前に、市内にお住まいのフルート奏者、長谷見誠氏をお招きしコンサートを開催しました。ミニコンサートの様子は、本会議のインターネット録画中継で公開していますので、本会議とあわせて、ぜひ、ご覧ください。



本会議のインターネット録画中継

本会議の録画中継をインターネットで公開しています。中継映像は本会議の開催後5日以降(土曜日曜、祝日を除く)に配信します。ぜひ、ご覧ください。

議会録画配信トップページ
<http://www.gikai-web.com/dvl-wako/>



聴覚・視覚障がいのある皆さまへ

本会議の手話通訳・要約筆記を無料で手配します。市議会だよりを音訳したCDを貸出します。お気軽にご連絡ください。また、市議会ホームページで音声データを公開しています。



3月定例会の開催予定

開会日は曜日!ぜひ、傍聴にお越しください。

2月
21日(日) 開会、施政方針に対する質疑
22日(月) 提案説明
26日(金) 議案に対する質疑
29日(月) 常任委員会
1日(火)~3日(木)

3月
4日(金) 市政に対する
7日(月)~9日(水) 一般質問
14日(月) 委員長報告、質疑
16日(水) 討論、採決、閉会

開会時間はいずれの日も9:00の予定です
【開催日確定までの予定】

- 正式な日程及び市政に対する一般質問における議員の発言順位は、2月18日(木)開催の議会運営委員会で決定する予定です。決まり次第、市議会ホームページ、ポスターなどでお知らせします。
- 請願・陳情の締め切りは、2月10日(水)15:00の予定です。



編集 議会運営委員会
 ■委員長 吉田武司 ■副委員長 吉田けさみ ■委員 待鳥美光 村田富士子 ■議長 齊藤克己
 ■オブザーバー 齊藤秀雄(副議長) 菅原満 吉村豪介 金井伸夫 内山恵子 赤松祐造 小嶋智子 安保友博

掲載記事の詳細は、議会事務局(☎ 048-424-9108 FAX 048-463-2835 Eメール i0100@city.wako.lg.jp)までお問い合わせください。